6

年度

政策2 持続可能で効率的なメンテナンス

県道伊勢崎深谷線(上武大橋)

老朽橋架替事業

-タはこちら

く(わ)かる(公(共)事



どのような未来を目指すための事業か

既存の社会資本の機能を維持させるため

老朽化した橋梁を 架け替えました

- ・橋や橋につながる道路は、狭くて大型車のすれ違いが困難。 (道路利用者)
- ・橋が古くて、サビやひび割れが目立っている。(地元住民)
- ・歩道がなく、学生の通学が危険。(地域住民)

事業前

◆老朽化によって、橋の健全性が低下しつつ ありました。また、渋滞が頻繁に起こり、 歩道がない箇所で歩行者の通行に交通事故 の恐れがありました。





事業前の状況

事業後

◆新橋が開通したことで橋の健全性が改善 されるとともに、車道が広がったことで 渋滞が解消され、歩行者の安全な通行空間 が確保されました。

......



事業後の状況

事業の概要

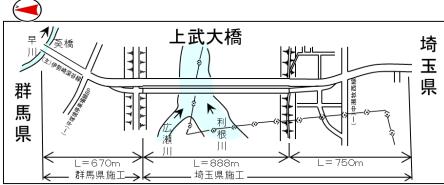
■ 事業箇所:伊勢崎市境平塚~埼玉県深谷市中瀬

■ 事業内容:老朽橋架替 延長2.3km 道路幅11.3m

■ 事業期間:平成15年度~令和4年度



事業の進捗状況(令和4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に、旧橋の撤去工事、護岸 工事、橋梁への河川管理用道路工事を 実施し、架替工事が完成しました。



事業のすすみ具合

事業開始(

事業完了